

66

NAGAI LEBEN

第66期報告書

平成26年9月1日から平成27年8月31日まで

 ナガイレーベン株式会社



100周年を記念して開設された我が国初めてのナースのための「いなギャラリー」。ギャラリー、情報サロン、くつろぎとやすらぎのオアシスとして、ナースの皆様にご提供していくスペースです。

ごあいさつ

未来は、ここから。



代表取締役社長
澤登 一郎

創業百周年を迎えることができ、ありがたくお礼申し上げます。株主の皆さまへの感謝には、格別のものがございます。これを機にこれまでの百年を省みて、今後のナガイレーベンを問い質しており、改めて会社とは何か、自問しております。利益を追求するだけで、永続的な企業活動ができるでしょうか。人が社会に生かされるように、会社も社会に認められて永続的な活動が許されるのではないのでしょうか。白衣には不思議な力が込められています。苦しみに打ちひしがれる人をやさしく包み込む力。深い絶望の中に、一筋の光をあたえる力。白衣をまとうことで、本来神にしかあたえられていない人を救う勇気をもらうことができます。

私たちはこの崇高な白衣を提供させていただいている、喜びと感謝を込めて前進します。ナガイ・イズム(ナガイ主義)ともいえる、精神の資産が未来への歩みを支えます。信じる力・ブレない力、原理原則を探究する力。社是でもある、これらの和をエネルギーとすることです。株主の皆さまには、これからのナガイレーベンに、新世紀の活動にいつそうのご期待とご支援をお願い申し上げます。

人と人とのあいだに、あたたかい。
製品づくりの熱意は、変わらない。

ナガイレーベンの製品づくりは、人と人との関わりづくりです。ナース、ドクター、ヘルパーなどの着る人たち。彼らを頼って、健康の回復、あるいは維持を願う人びと。健康のための人と人との信頼の関係形成を基本にしているのです。株主の皆さまに、私たちの考えをもっと知っていただけたらと願い、以下に医療(Medical)分野、ナースウェアでの意気込みを最新の商品カタログの前書きから抜粋してご紹介しています。ナガイレーベンが製品をお届けするのは、医療(Medical)をはじめ、介護(Health)、手術(Surgical)の市場。分野は違っても、製品づくりの熱意と気構えが変わることがありません。

看護とは感動で成り立っている、と思うことがあります。ナースが持つ人の想像を超える力に、いつも驚かされるからです。専門的な技術、知識。それに裏打ちされた手当、処置。やさしい対応、時にはほほえみ。その一つ一つが苦しむ人の勇気となります。ナースを信じて、いのちの希望が動き出します。いのちが信頼して、ナースはナースになるのです。ここに、ナガイレーベンの変わらぬ役割があります。そのためなら、どんな苦労も労力も惜しみません。ナースと看護を知り尽くしているからこそ、できることがあります。ナースといっしょにもう100年余り。その成果を、これからもお届けしていきます。(カタログ前書きより抜粋)

Medical



新市場開拓から将来の病院市場を見据えた新しい試みの白衣。



大人気のビタミンシリーズの新作。

Health



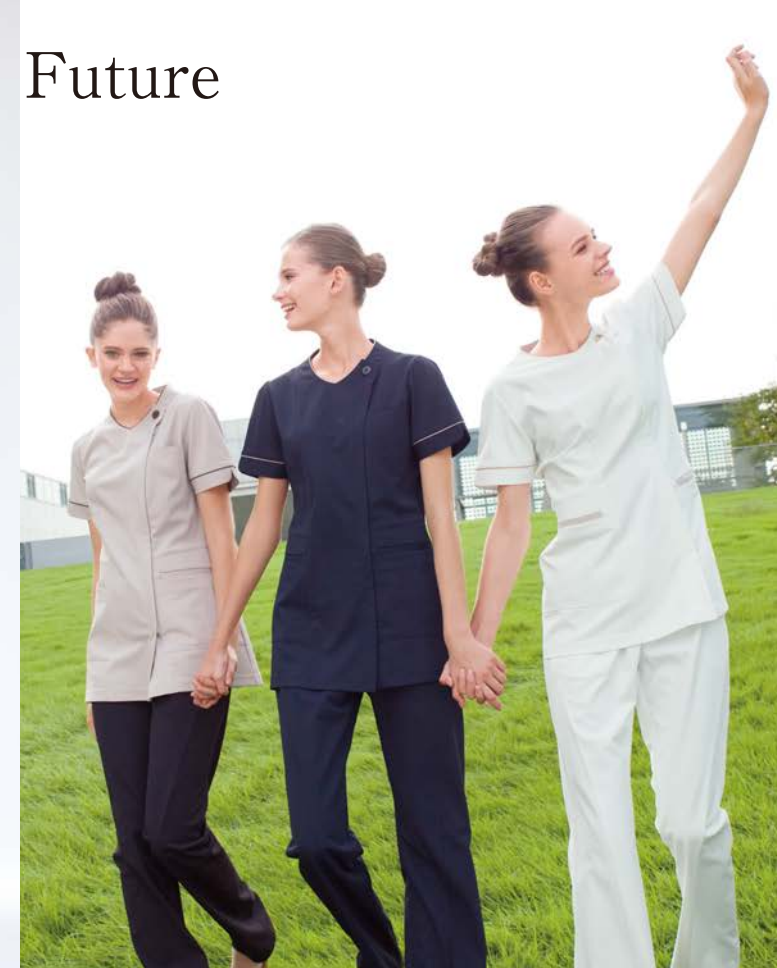
機能性に優れた多色展開の介護ウェア。

Surgical



カラフルなオペウェアの新作。

Future



白衣のイメージをかえるかもしれない新ブランドビーズベリー。

連結業績ハイライト Business highlight

第66期決算の概要

売上高	161億円	前年同期比 0.4%減
売上総利益率	46.6%	前年同期比 0.1ポイント減
営業利益	48億円	前年同期比 2.2%減
当期純利益	32億円	前年同期比 0.1%増
総資産	390億円	前年同期比 1億円減
自己資本比率	89.2%	

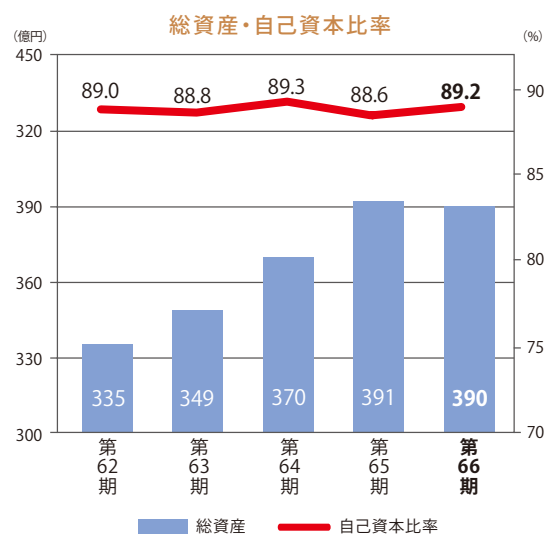
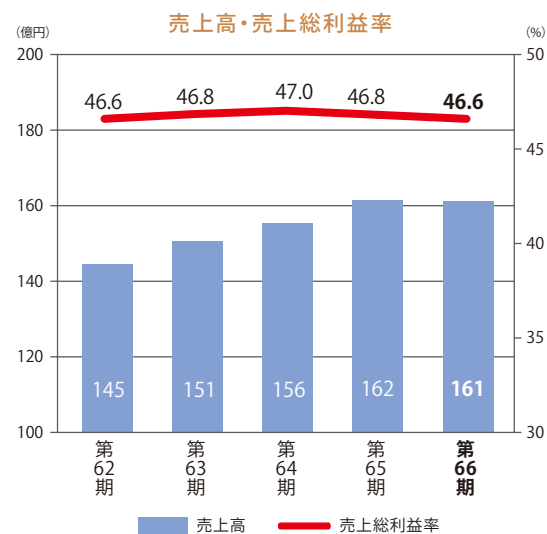
過去最高の売上高水準を達成 営業利益・経常利益は前年比若干のマイナス

当社グループ(当社及び連結子会社)は、主力のヘルスケアウェアは第4四半期に健闘し前年並みまで回復、患者・手術ウェアの周辺市場も順調に拡大したものの、ユーティリティウェア、ドクターウェアの落ち込みにより、過去最高であったほぼ前期並みの、161億50百万円(前年同期比0.4%減)の売上高となりました。

生産に関しましては、急激な円安の進行や原材料価格・海外加工賃の上昇により、原価の高騰があったものの、ドル先物の長期為替予約や海外への生産シフトの推進及び新規海外生産拠点の順調な立ち上がりを受けて、売上総利益率はほぼ前年並みの46.6%(前年同期比0.1ポイント減)となりました。

株主の皆さまへの利益還元といたしましては、平成27年1月に1百万株の自己株式の取得(15億円)を実施し、1株につき普通配当50円に、弊社の創業100周年記念配当50円を加え、合計100円の期末配当を実施いたしました。

主な経営指標



来期の業績見通し

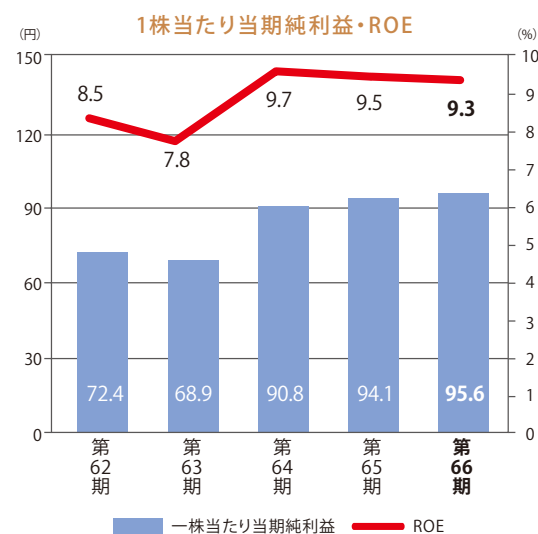
売上高	165億円	前年同期比 2.2%増
営業利益	48億円	前年同期比 0.0%増
当期純利益	32億円	前年同期比 0.3%増

次期の見通しにつきましては、急激に進行する円安や中国経済の減速の影響等により、国内景気の先行きの不透明感は継続するものと見られ、楽観できない状況で推移するものと思われます。

当社グループといたしましては、主力のヘルスケアウェア及びドクターウェアに高付加価値新商品を投入、市場を活性化し更新物件の確実な受注と新規物件の獲得を行うとともに、患者・手術ウェアの継続した安定拡大により、過去最高の売上達成を目指してまいります。

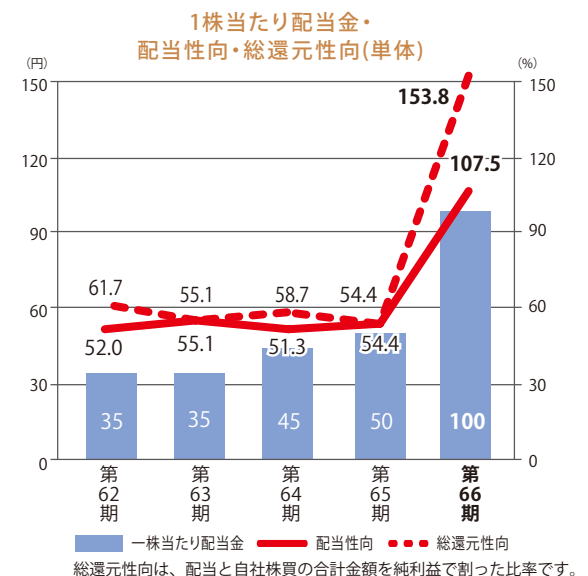
生産に関しましては、原価低減と安定供給のために、引き続き海外生産シフトの推進及び新規海外生産拠点の整備を図ってまいります。

※平成23年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、
下図の第62期の1株当たり当期純利益・配当金は分割修正後の値です。



当面の経営課題と取り組み状況

売上拡大に向けた営業戦略
● 看護・介護等コア市場の深耕 ● 患者・手術等周辺市場の拡大 ● 新市場の開拓
安定供給に向けた生産戦略
● 素材メーカー・商社との取り組み強化 ● 新規海外生産拠点の開発 ● カントリーリスク低減のための海外分配率の最適化 ● 小ロット多品種生産への対応力強化
原価低減に向けた戦略
● 国内生産から海外生産へのシフト ● 汎用品向け海外製素材の開発 ● 円高メリット享受のための長期先物為替予約開始 ● EPA・FTAの優遇税制の活用



F 連結財務諸表の概要 financial statement

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前期末 平成26年8月31日	当期末 平成27年8月31日
(資産の部)		
流動資産	29,589	29,711
固定資産	9,560	9,296
資産合計	39,150	39,008
(負債の部)		
流動負債	3,605	3,261
固定負債	863	951
負債合計	4,468	4,213
(純資産の部)		
株主資本	34,450	34,422
その他の包括利益累計額	231	372
純資産合計	34,681	34,795
負債純資産合計	39,150	39,008
1株当たり純資産	1,012円72銭	1,046円58銭

株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科 目	前期末 平成26年8月31日	当期末 平成27年8月31日
株主資本合計(期首残高)	32,768	34,450
会計方針の変更による累積等影響額	—	△42
当期変動額	1,682	13
株主資本合計(期末残高)	34,450	34,422

(平成27年8月31日現在)

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てています。
この財務諸表は主要な項目を表示しています。

Point

流動資産は、たな卸資産3億64百万円の増加、電子記録債券69百万円の増加、現金及び預金3億80百万円の減少により、前期比1億21百万円の増加となりました。

Point

固定資産は、減価償却費の計上などで、前期比2億63百万円の減少となりました。

Point

資産合計は前期比1億42百万円の減少となりました。

Point

株主資本は前期比28百万円減少いたしました。株主還元として、17億12百万円の配当金の支払、15億円の自己株式の取得を実施いたしました。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前期末 平成26年8月31日	当期末 平成27年8月31日
売上高	16,214	16,150
売上原価	8,628	8,617
売上総利益	7,585	7,532
販売費及び一般管理費	2,662	2,719
営業利益	4,923	4,813
営業外収益	261	331
営業外費用	42	56
経常利益	5,142	5,088
特別利益	115	30
特別損失	26	3
税金等調整前当期純利益	5,231	5,115
法人税等	2,007	1,889
当期純利益	3,224	3,225
1株当たり当期純利益	94円14銭	95円64銭

Point

過去最高であった前期並みの売上高となりました。売上総利益率は、ほぼ前年並みの46.6%となりました。

Point

外貨預金の為替差益2億26百万円を計上しました。

Point

営業活動によるキャッシュ・フローは27億27百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出2億4百万円などがありました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払(17億11百万円)、自己株式の取得(15億円)を行いました。これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は84億91百万円となりました。

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前期末 平成26年8月31日	当期末 平成27年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,271	2,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,518	143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,539	△3,211
現金及び現金同等物の増減額	3,298	△179
現金及び現金同等物の期首残高	5,373	8,671
現金及び現金同等物の期末残高	8,671	8,491

Our 100th anniversary year

当社は2015年に創業100周年を迎えました。大正4年、白衣専門店として創業を開始して以来、メディカルウェアを通じて医療や介護の現場をサポートし続けてきました。株主・投資家のみなさまに、ナガイレーベンの過去・現在・未来についてご紹介いたします。

創業100年の変遷 1915年、白衣専門店として「永井商店」を創業

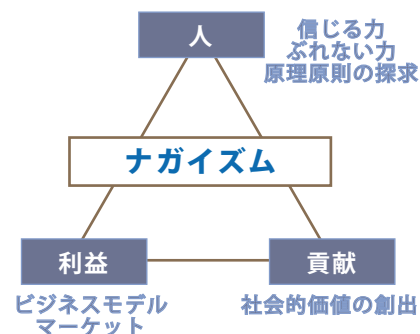
1915年 「永井商店」創業
1969年 製造部門拡充のため「ナガイ白衣工業株式会社」設立
1971年 日本で最初のポリエステル100%ニット白衣を開発
1994年 秋田に物流センター設置
1995年 株式店頭登録
「介護」商品の開発・販売開始
2001年 東証二部に上場
2003年 西日本物流センター設置
2004年 ISO9001:2000認証取得
東証一部に上場
2005年 ISO14001:1996認証取得
2014年 新本社ビル完成、移転
2015年 創業100周年

「ぶれない」経営スタイル 徹底的な効率化の追求による、原価低減の実現

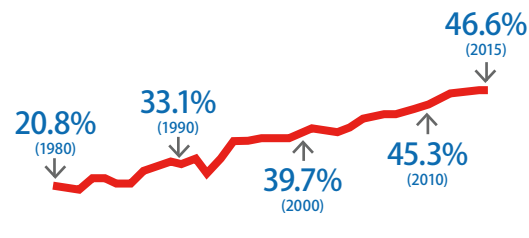
ナガイレーベンは、1969年からメディカルウェア専門の製造販売メーカーとして事業活動を行っております。その事業領域において、徹底的な効率化・原価低減を追求し、得られた収益をもとに、研究開発活動や生産拠点への投資を行い、白衣の商品価値のさらなる向上に努めています。

ナガイズム：100年の時が醸成させた、ナガイレーベンの企業精神

ナガイレーベンでは、「人」「利益」「貢献」の3本柱を軸とする、企業精神があり、それらを「ナガイズム」と称しています。「いのちの力になりたい」を目指し、それぞれの柱を大切にしながら、成長し続けています。



売上総利益率の推移



社会的責任 企業市民としてさまざまな分野への貢献

生産拠点を通じた地域貢献
・国内：秋田県
・海外：中国、インドネシア、ベトナム

環境への取り組み
・ISO14001の取得(2005年)
・医療廃棄物を削減する「コンペルパック」

女性主役産業をサポート
・メディカル・縫製産業など
女性が活躍できる場の創出

子どもたちへの支援
あこがれの職業としての「医療」
・ミッフィー小児科病棟訪問
・医療機関へ子ども用白衣の貸し出し

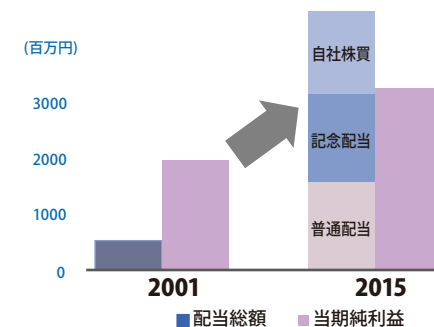


これからのナガイレーベン 着実・安定的な企業成長を目指して

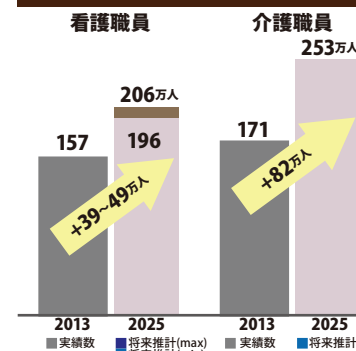
日本国内の看護・介護の従事者数は、社会保障の拡充などもあり、安定的な増員が予想されています。2015年に100周年を迎えたナガイレーベンは、これからも、当社独自の企業精神「ナガイズム」を大切にしながら、医療・看護・介護市場に特化し、その周辺市場を広げ、医療従事者のみなさまにさらに歓迎される商品を提案し、より社会に貢献できる企業を目指してまいります。

株主還元 安定成長・株主還元・株式価値の向上

ナガイレーベンでは、配当性向を純利益(単体)の5割程度とする方針とし、安定的な配当金額を継続し、必要に応じて自己株式の取得等を積極的に実施しています。2015年は、1月に100万株(15億円)の自己株式の取得を実施し、また創業100周年記念配当として一株100円の配当を実施しました。今後も、企業価値の向上のための成長機会への再投資も考慮しつつ、株主のみなさまへの利益還元 に努めてまいります。

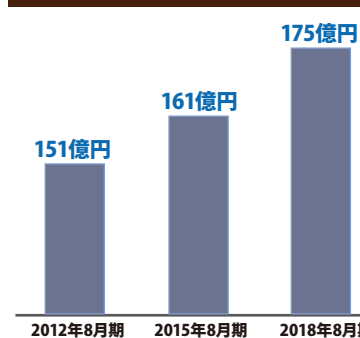


看護・介護職員の需要推計



看護職員：実績値 日本看護協会「看護統計資料」
推計値 厚生省「第一回看護職員供給見通しに関する検討会」(H26.12)資料より
介護職員：厚生省「2025年に向けた介護人材にかかる需給推計(確定値)について」(H27.6)

売上高計画



会社概要 Corporate outline

商 号	ナガイレーベン株式会社	(平成27年11月26日現在)
本 社	〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2丁目1番10号	
設 立	昭和25年7月20日	
資 本 金	1,925,273,475円	
社 員 数	113人(グループ従業員数497人)	(平成27年8月31日現在)

役 員	代 表 取 締 役 社 長	澤 登 一 郎
	常務取締役経営企画本部長	斉 藤 信 彦
	取 締 役 管 理 本 部 長	大 野 和 城
	取 締 役 業 務 本 部 長	朝 井 克 司
	取 締 役 企 画 本 部 長	山 本 康 義
	取 締 役 営 業 本 部 長	新 谷 欣 哉
	常 勤 監 査 役	荻 野 和 孝
	監 査 役	輿 石 國 安
	監 査 役	城 見 浩 一

主な事業所

本社

ナガイレーベン物流センター

ナガイレーベン第2物流センター

ナガイレーベン西日本物流センター

北海道支店

東北支店

名古屋支店

大阪支店

広島支店

福岡支店

高松営業所

台北支店

関 係 会 社

ナガイ白衣工業株式会社

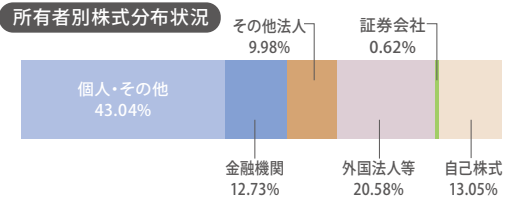


株式情報 Stock information

株 式 情 報		(平成27年8月31日現在)
発行可能株式総数	100,000,000株	
発行済株式総数 (自己株式4,989,504株を除く)	33,246,496株	
株 主 数	3,826名	

大株主の状況		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
澤登 一郎	5,760,900	17.3
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	3,004,934	9.0
有限会社登龍	1,209,600	3.6
澤登 辰郎	1,055,200	3.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	957,500	2.9
RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT-CLIENT ACCOUNT	878,700	2.6
露口 誠	800,000	2.4
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	760,500	2.3
株式会社安立	748,000	2.2
澤登 春江	623,600	1.9

注1. 当社は、自己株式を4,989,504株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



株 価 の 推 移



いのちの力になりたい。



本 社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-1-10 Tel.03-5289-8200 (代) Fax.03-5289-7935

営 業 本 部 Tel.03-5289-7891 (代) Fax.03-5289-7917

北海道支店 〒065-0017 札幌市東区北17条東3-2-19 Tel.011-741-1416 (代) Fax.011-741-1417

東北支店 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-8-11 Tel.022-256-1001 (代) Fax.022-256-1004

名古屋支店 〒461-0002 名古屋市東区代官町35-16第一富士ビル6F Tel.052-979-4300 (代) Fax.052-979-4301

大阪支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-17-26 Tel.06-6977-2221 (代) Fax.06-6977-3700

広島支店 〒733-0003 広島市西区三篠町2-17-16広本ビル1F Tel.082-509-3001 (代) Fax.082-509-3003

福岡支店 〒810-0011 福岡市中央区高砂2-11-11 Tel.092-526-7778 (代) Fax.092-526-7779

高松営業所 〒761-0113 高松市屋島西町1897-17 Tel.087-843-2328 (代) Fax.087-843-2329

台北支店 台北市中山区復興北路178號8F之4 Tel.02-2545-5885 (代) Fax.02-2545-6149

ナガイレーベンホームページ <http://www.nagaileben.co.jp>

い と な ギ ャ ラ リ ー ホ ー ム ペ ー ジ <http://www.itona.jp>



JQA-QMA11091
本社・国内事業所
JQA-E144600
本社



このマークは株式会社アネモイが提供する太陽光発電によるグリーン電力証書の利用を証するものです。

当社は、第60期事業報告の制作(印刷)時に消費する電力相当をグリーン電力証書を利用することで、環境に配慮した冊子制作を行うとともに、日本における自然エネルギーの普及促進に貢献しています。